



群馬パース同窓会報

2012.10 No.13

平成24年同窓会総会を開催!

群馬パース同窓会 副会長 金谷 泉



看護学科2000年度卒
大学院 保健科学研究科 2011年度卒
【群馬大学医学部附属病院 勤務】

群馬パース看護短期大学を卒業し、同窓会の副会長に任命されて約九年が経ちました。初めての同窓会総会の打ち合わせは、役員が3人しか集まらず、高山キャンパス近くのレストランで打ち合わせをし、キャンパスで同窓会総会をしたことを今は懐かしく思います。

時は平成24年6月16日(土)、高崎市問屋町の群馬パース大学にて同窓会総会が行われました。

今年も、看護学科、理学療法学科、総勢96名が参加しました。群馬パース学園ができて十四年となると、卒業生が師長や看護部長になっていたり、仲間の活躍にとっても刺激を受ける同窓会となりました。セミナーでは各学科に分かれ、同窓生の発表や先生方に講演していただきました。臨床現場で活躍している同窓生の発表では、急性期病棟や、療養病棟で活躍する仲間の発表を聞いて、急性期と、療養病棟では看護は違うのか・・・なんて考えながらまた、「看護」について考えさせられる機会となりました。

先生方の講演は、医療職としての経験があるからこそ心に響く講演であり、有意義な時間となりました。また、学生の参加もあり、先輩方の話を聞いてプロ意識が高まる機会となったのではないのでしょうか。

セミナー終了後は、1階の学生ホールにて懇親会を開催しました。食事をしながら、近況を報告しあったり、旧友たちとの久しぶりの再会に、昔を思い出しながら語ったりと時間の経つのを忘れてしまうほどでした。

大学の関係者の方、学年幹事、同窓会役員はもちろん、皆さまの協力あってこそ、総会を無事終了することができたと感じています。

来年は、家族での参加やお子様連れでの参加もできるように工夫していきたいと思っています。一人でも多くの方にお会いできることを、心から楽しみにしています。

群馬パース同窓会 会計 設楽 達則



理学療法学科2005年度卒
【群馬県立心臓血管センター リハビリテーション課 勤務】

理学療法支那支部会が発足されて二年が経ちました。理学療法学科の同窓生は現在、短大3期、四大4期とで合計7期となりました。これまで看護学科の先輩方が中心になって同窓会を盛り上げてくださっていました。理学療法学科の同窓生も最近では徐々に同窓会活動に関わらせていただくようになりました。今回の総会は、理学療法学科からの参加も増え、看護と理学療法の二学科合同という色が濃かったように思います。

総会後は、看護学科と理学療法学科がそれぞれに別れての研修セミナーが開かれました。理学療法学科では、江口勝彦先生の座長による、木村朗先生、仲保徹先生の貴重な講演を聴くことができました。木村先生は「エビデンスに基づく臨床について」、仲保先生は「呼吸器系全般から吸引について」、お話ししてくださいました。学会等にはない同窓会ならではの、楽しく興味深い内容で、その後の臨床や研究にも参考になっています。

最後の懇親会では、看護と理学療法の二学科が再度集まって、それぞれの近況を報告し合ったり、仕事の悩みについて相談し合ったり、思い思いに楽しい時間を過ごしました。私自身も、かつての仲間と会うことで、学生時代を思い出し、つい懐かしさに浸ってしまいました。あの感覚は同窓会の場でしか味わえないとしみじみ感じています。また来年も懐かしく顔を合わせたいものです。



Dum Spiro Spero

～人には生命ある限り希望がある～

団体名/群馬パース同窓会 役員/会長:小野 章夫 副会長:金谷 泉・井口 智・田子 利法 書記:荻野 拓也・赤池 優
 名誉顧問/学長:小林 功 会計:高都持志帆・星野 唯・設楽 達則 庶務:田村 佳誉・若松 孝志・栗田 潤
 監査:青柳 直樹・武井 直樹・木村 史志

同窓会総会開催

去る平成24年6月16日(土)、あいにくの天候ではありましたが、熱気に包まれる同窓会を開催できました。

総勢96名が、総会・セミナー・懇親会へと参加し、久しぶりの再会の場心がほぐれて和やかな一日となりました。



平成23年度 活動報告

4月	・同窓会報発行(4月中旬)
5月	・同窓会事務局役員会(沼田市)
6月	・学内スポーツ大会 参加(高山キャンパス) ・同窓会総会【研修セミナー・講演会・懇親会】(群馬パース大学)
7月	
8月	
9月	・同窓会事務局役員会(沼田市) ・同窓会報発行(9月下旬)
10月	・流星祭 協賛(群馬パース大学)
11月	・恕会 懇親会(沼田市)
12月	
1月	・同窓会事務局役員会(沼田市)
2月	
3月	・群馬パース大学 学位記授与式 出席(メトロポリタン高崎)※会長祝辞 ・同窓会事務局役員会(高崎市)

平成24年度 活動計画

4月	・群馬パース大学 入学式 出席(メトロポリタン高崎)※会長祝辞 ・同窓会報発行(5月上旬)
5月	・同窓会事務局役員会(沼田市)
6月	・学内スポーツ大会 参加(高山キャンパス) ・同窓会総会【研修セミナー・懇親会】(群馬パース大学)
7月	
8月	
9月	・同窓会事務局役員会(沼田市) ・同窓会報発行(9月下旬)
10月	・流星祭 協賛(群馬パース大学)
11月	・恕会 懇親会(沼田市)
12月	
1月	・同窓会事務局役員会(沼田市)
2月	
3月	・群馬パース大学 学位記授与式 出席(メトロポリタン高崎)※会長祝辞 ・同窓会事務局役員会(高崎市)

平成24年度群馬パース同窓会役員

同窓会新役員		学年 幹事					理学療法部会幹事		
会長	小 章	短大1期	青 柳	直 樹	大学1期	荻 野	拓 也	田 子	利 法
副会長	金井 谷	短大2期	武 池	直 直	大学2期	石 坂	一 美	設 楽	達 達
書記	井田 口	短大3期	池 上	信 孝	大学3期	新 坂	美 美	木 村	吏 志
会計	田 子	短大4期	上 若	章 章	大学4期	坂 金	優 優	ほたか病院「恕会」幹事	
庶務	萩 野	短大5期	小 遠	麻 麻		根 樋	優 優	赤 池 優	
監査	高 都	短大6期	遠 木	更 高		遠 荒	優 優	群馬大学医学部附属病院支部	
	星 設	短大7期	木 桜	達 達		上 岸	秀 祐	「さみどり会」幹事	
	田 柳		赤 設	千 恵		高 春	知 夕	及 川	洋 泉
	井 村		井 藤			渡 春	夕 希	金 谷	
	木 村		藤 井			渡 春	夕 希		

医療法人

関越中央病院 ICU 勤務

長谷川 亜弓

(旧姓 清水)
(看護学科 2001 年度卒)



先日、就職説明会に参加させてもらうため、初めて高崎の間屋町にある大学に行きました。とても立派な建物で大学らしくなり驚きました。私は、短大2期生で、高山キャンパスで寮生活をしながら学生生活を送っていました。まだ、構内の設備も完全ではなく、携帯の電波も悪かったため、寮にある公衆電話に並んでいたことが懐かしく感じました。全国各地から入学してきた学生同士の寮生活は、ホームシックになりながらも楽しく過ごしました。卒業後、約10年経ちますが、今でも、仲の良い友人達と年に1回は、高山温泉プラザに集まりバーベキューをしています。それぞれ家庭を持ち子育てしながらと環境は変わりましたが、お互いの近況報告や悩み等を相談する場となり、良い気分転換となっています。

私は卒業後、今の病院へ就職し、手術・治療・診断棟(ICU)へ配属になりました。病床数は90床と決して大きな病院ではありませんが、心筋梗塞・手術後・呼吸器管理等の急性期患者様を中心に看護させてもらっています。また、カテーテル室と手術室も兼務のため、時には、手術室・カテーテル室にも入り対応しています。医療は日々進歩しており、知識・技術が追いつかず、何度もくじけそうになりますが、今しか出来ないと思ひ、家族・スタッフの協力を得て働いている毎日です。

有限会社 COCO-LO 勤務

加藤 理恵

(旧姓 齊藤)
(理学療法学科 2005 年度卒)



急性期病院に3年勤務した後、現在は訪問リハ、デイサービスに携わっています。最初は病院勤務との違いに戸惑いました。PTとしての私の考えと利用者様の思いとの差に葛藤もありました。その差とは、必ずしも機能的な練習を求められているわけではなかったということです。今まで機能的な練習を主として業務していた私は、「PTの専門性って何?」と疑問や抵抗を感じました。訪問リハは利用者様のプライベートな空間に入っていくため、信頼関係を築くことが重要です。しかし私の配慮の欠けた言動のせいで訪問を拒否されてしまったり、利用者様を傷つけてしまったりと多くの失敗をしました。

訪問リハではPTの立場としてだけでなく、OT、ST、看護師はもちろん、時には娘であり、孫の立場になることもあります。そのため医療に限らず、広い視野が必要だなと感じています。利用者様は人生の先輩です。私自身も家族の話や悩み相談をすることで、利用者様との距離を縮められるようにしています。また利用者様は高齢者が多いため、身体機能の大きな改善はありませんが、低下は急激に起こることがあります。些細な変化でも見逃さないようにし、良いことは利用者様と一緒に喜び、悪いことは小さいうちに済むように心がけています。

利用者様の思いに応えられたとき、「ありがとう」という言葉をかけていただいたときに「PTをやっている良かったな」と感じます。これからも、心配りを忘れずに痒い所に手が届くようなサービスを提供していきたいと思ひます。

医療法人 石井会 石井病院 勤務

黒岩 美恵

(旧姓 金井)
(看護学科 2002 年度卒)

伊勢崎市にある石井病院に就職し9年目です。現在は、整形外科・形成外科の急性期病棟に勤務中です。火曜～金曜までほぼ平日毎日手術があり、リハビリ期病棟も併設しているため、毎日術前準備・術後管理に、入院、退院、転棟準備と日常ケア…と忙しく過ごしています。

パース在学中の思い出は、高山村の霧がすごく濃くて、霧が出ると前が見えなくなってしまう事と、山の中から早朝にみんなでバスに乗り、はるばる実習地に向かっていった事です。バスを乗り合わせてみんなで実習に行くなんて、高山村での寮生活ならではのだったなど、今でもたまに思い出し懐かしくなります。

私はパース卒業後から、現在まで石井病院でずっと働いています。決して大きな病院ではありませんし、最新医療に触れる機会は少ないですが、地域密着型の病院として、伊勢崎市北部の方に寄り添った病院だと私は思っています。

卒業後からの9年の間に、結婚・妊娠・出産を経験し、現在二人目を妊娠中ですが、自分のライフスタイルに合わせ、勤務時間や形態を変更してもらえ、周りの同僚にも恵まれ、小さな子供を育てている今でも、なんとか家庭を大切にしながら働き続ける事が出来ています。

私は出産、育児を経験したことにより、改めて看護師という職業を好きになれました。大変な事も多いですが、この職業を選んだことを誇りに思ひ、これからも働いていきたいと思っています。

今年度の流星祭について

流星祭実行委員長 望月 恵介
理学療法学科2年
(群馬県立渋川青翠高等学校出身)



第15回 流星祭

2012
10/27-28
(土) (日)

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。平成24年度、第15回流星祭実行委員長の望月恵介です。

流星祭は今年度で15回目、問屋町キャンパスに移動してから3回目を迎えることとなりました。卒業生の皆様によって誕生し成長してきた流星祭ですが、私たちはその伝統が途切れることなく受け継ぎながら、伝統のレールを敷いていくことが使命であると考えています。

さて来年度、平成25年度から本学に新しく検査技術学科が開設されます。来年2月に完成予定の検査技術学科棟の工事もすでに始まっており、群馬パース大学は新しい歩みを進めています。

そのことから今年度の流星祭のテーマは『ぼくらは踏み出す、新たな一歩』に決定いたしました。なお、2日目の10月28日(日)には、検査技術学科の藤田清貴学科長の公開講座も開催予定です。

新たな一歩を踏み出す群馬パース大学、歴史を感じながら私たちはその歩みをしっかりとして受け止め、学友会や流星祭実行委員そして全学生と協力していきます。医療系大学ならではのイベントを地域に発信し、すばらしい流星祭にしていきたいと思っておりますので、お忙しいとは思いますが是非遊びに来てください。心よりお待ちしております。



2012就職説明会 開催 8月10日

5年後10年後のモデルとして...

看護学科 39名、理学療法学科 12名の卒業生が、医療職を目指す後輩に熱い思いを語りました。



検査技術学科開設にあたって

群馬パース同窓会の皆さん、初めまして。ご存知かと思われませんが、群馬パース大学は来年4月に検査技術学科がスタートいたします。その準備室長としてこの4月に着任いたしました藤田清貴です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、臨床検査は、病気の診断や治療効果を判定する上で必要不可欠なものです。さらに、臨床現場では、診療支援ができる実践的な知識と技術を身に付け、検査値から病態を推測できる臨床検査技師の養成を望む声が大きくなっています。一方、臨床検査技師は、医療機関で活躍する以外に、生殖医療分野における臨床エンブリオロジスト、科学捜査研究におけるスペシャリスト、製薬・試薬関連企業での研究開発など、これまで以上に幅広い分野での活躍が期待されています。そのためには、高度な専門知識と応用能力をもち、科学的視野および技術で問題解決のできる Clinical Laboratory Scientist としての臨床検査技師の育成が急務です。

そこで本学科では、国家資格を取得するためだけの教育ではなく、豊かな教養と実践的な知識と技術能力を身に付け、検査値から病態を推測し診療支援ができる臨床検査技師、および検査技術学を応用し Scientist として他分野で活躍できる臨床検査技師の育成を目的としています。臨床経験豊富な各分野の専任教員による講義や実習、さらには群馬大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、慶応義塾大学病院などの先端高度医療施設での臨地実習など特徴ある教育カリキュラムを取り入れています。また、検査技術学科棟もこの7月から建設が始まり、来年2月には6階立ての新校舎が完成予定です。

教員一同、夢のある教育・研究を目指し精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、どうか、皆様方の温かいご支援、ご協力の程をよろしくお願いいたします。



検査技術学科
準備室長

藤田 清貴

≡≡≡ 体育棟新築工事に関する寄付のお願い ≡≡≡

予てより学生から要望の強い体育棟の新築工事を決定致しました。つきましては、経済情勢の厳しい折から誠に恐縮に存じますが、今後も引き続き、同窓生皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付募集要項

1. 募金の名称 群馬パース大学 体育棟新築工事
2. 募金目標額 3億円
3. 募金額 一口1,000円
4. 募集期間 自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日
5. 申込方法 下記お問合せ先までご連絡ください。

～お問合せ先～

学校法人 群馬パース学園 会計課(木村・清水)

Tel: 027-310-5117

税額控除適用法人の証明を受けました。

平成23年度税制改正に伴い、文部科学大臣より「税額控除」適用法人の証明を受けました。

これらにより個人の方からのご寄付につきましては、「所得控除」または「税額控除」のいずれか一方を選択し、税法上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます(「税額控除」は所得税額からの直接控除であるため、従来の「所得控除」の比べ、ほとんどの寄付について減税効果が大きくなっています)。



群馬パース大学大学院
教授

伊藤 まゆみ

大学院のご案内



群馬パース大学大学院は開設4年目を迎え、これまで2期15名が保健学修士の学位を取得し、課程を修了しました。現在2年生は、12月の修士論文提出に向けての研究活動、1年生は講義、ゼミ、文献講読等に取り組んでいます。学生は全員、医療機関や教育機関で働く社会人で、修了生3名、在学学生1名はパースの卒業生です。特別研究を指導する11名の教員は看護学・理学療法学の各専門領域における研究の第一人者で、大学院修了後も学会発表や論文作成、共同研究活動など、指導教員と学生の関係を越えた研究者仲間としての活動を続けています。

大学院は敷居が高いと感じる方もいらっしゃると思いますが、准学士での出願資格認定制度(実務経験3年以上)、日本学生支援機構の奨学金制度、そして何より卒業したみなさまがよくご存じの「学生と教員の距離が近い」パースの校風が2年間の学びをサポートします。同窓生の皆さま、現場での仕事の質を上げるため、あるいは専門職としてのキャリアアップのため、もう一度母校で学んでみませんか。

お問い合わせ先

入試広報課

TEL 027-365-3370

E-mail nyushi-koho@paz.ac.jp

伊藤まゆみ

TEL 027-365-3366 (代)

TEL 027-388-0333 (研究室直通)

E-mail itou@paz.ac.jp

※修士論文発表会にご参加いただけます。今年度は平成25年2月28日(木) 本学8階 PAZホールで開催予定です。



群馬パース大学大学院

保健科学研究科 保健科学専攻(修士課程) 5期生募集のご案内

- 特徴1 11の特別研究から、自分の目的に合った研究を選択することが可能。
- 特徴2 働きながら学べるように、院生一人ひとりに対応したオーダーメイドカリキュラム。
- 特徴3 本学の卒業生(見込み含む)は入学手続き時、入学金(100,000円)を免除。

入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
B日程	11月12日(月)~11月26日(月)	12月1日(土)	12月6日(木)	6名
C日程	1月28日(月)~2月12日(火)	2月16日(土)	2月21日(木)	

お問い合わせ：入試広報課 TEL 027-365-3370 (直通)

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
2. 同窓会報の作成・発行
3. 同窓会ホームページの管理
4. 資金管理
5. 総会、懇親会の運営

等の業務を行っています。

これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

1. 住所・氏名・職場に変更があった方
2. 同窓会報に寄稿したい方
3. 支部会を組織したい方



連絡先

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1
群馬パース同窓会 担当：衣川・寺澤
TEL 027-365-3366 FAX 027-365-3367
E-mail : alumni@paz.ac.jp

医療職の再就職・転職を支援

ご相談から入職まですべて無料！

お気軽にご相談ください！



株式会社 サフラン

まずは、お電話かメールで
お問い合わせください！

職業紹介事業部 ☎ 027-381-6002

